



SP グループ

ABOS株式会社

Company Profile

会社案内

2025.6.1 版

<ご挨拶>

第4次産業革命の進展、パンデミック、地経学リスクの増大、地球温暖化……等々により、社会構造や人々の生活様式が、予測を遥かに超える速度と規模で変容しています。当然、保険業界を取巻くビジネス環境も例外ではありません。私達SPグループが、近未来の社会でもお客様や保険会社にとって必要不可欠な存在であり続けるためには、**私達自身も変わらなければなりません。**

SPグループ（ABOS・アシスト）では、グループ一丸となって **DX**（社内愛称＝ **ABOTECH**）に取り組んでいます。

ABOSでは、

- ・ **デジタル化を推進して顧客の利便性向上**を図り、顧客のストレスや不都合の最小化に取組みます。
- ・ **人ならではの心の通ったアナログサービス（コミュニケーション・コンサル・行動力）**で、顧客満足度の最大化を目指します。
- ・ **保険以外のシーンでもお客様のお役に立てるネットワークを構築**し、SPグループならではのサービスを提供致します。

ABOSに所属するCSPの皆さんが、**ABOTECH**を活用してお客様に新しい価値や顧客体験を提供し続けられることを望んでいます。

人がIT, AIと共存する世界では、『**顧客グリップ力**』が私達専門代理店の**生命線**だと考えているからです。

アシストでは、

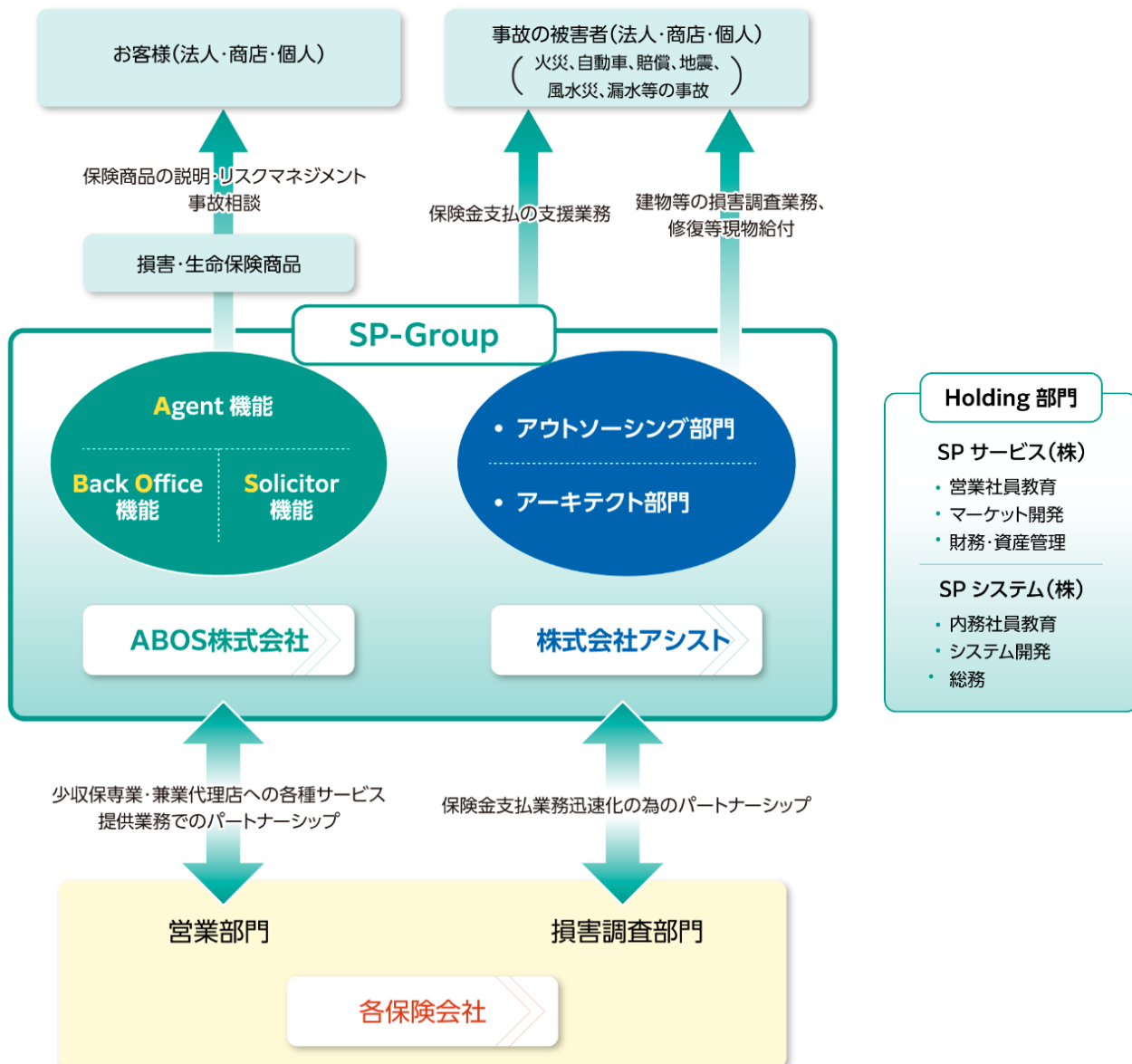
- ・ **クライアント各社のDXとベクトルを合わせ、よりスピーディーで公正な保険金支払いに貢献出来る体制（アーキテクト部門・アウトソーシング部門）**を築きます。
- ・ 専門技術者ならではの**説得力のある説明と、被災者に寄り添う行動力**で、IT, AIの無機質さを補完します。
- ・ 全国規模で、**高品質且つ適正価格の現物支給（応急処置・修復作業・建築）サービス**を提供出来るネットワークを構築します。

近年、異常気象や地震の多発で、各地に於いて広域災害による被災者が急増しています。

被害に遭われた方々が一日でも早く日常を取り戻せる様に、金銭給付を超えたサービスを提供することがアシストの使命だと考えています。



エスピーグループ 代表 山岡 洋二



エスピーグループの歩み	エスピーグループ売上総利益（手数料収入）の推移(単位:千円)										年号 トピックス
エスピーシステム(株)設立 1980年～(昭和55年～) 山岡洋二(30才)が、AIUを脱サラし、神戸にて『代理店の法人化支援の為のコンサルタント業』を開業。このあいだのクライアントは㈱インシュアランスサービス・㈱ワイドホケンセンター・合保険システムの3社だけでしたが、クライアント各社の成長に伴い、弊社の経営も徐々に安定して来ました。	S55										1980 日本の自動車生産台数が米を抜く
	S56								9,800		1981 神戸ポートピア81
	S57								19,700		1982 東北・上越新幹線開通
	S58								22,000		1983 東京ディズニーランド開園
	S59								26,600		1984 衛星放送始まる、第二電電（DDI）設立
	S60								35,000		1985 G5によるプラザ合意、日航ジャンボ機が墜落
	S61								37,400		1986 男女雇用機会均等法、財テクブーム
	S62								35,900		1987 NY市場ブラックマンデー株暴落、国鉄分割・民営化決定
	S63								38,000		1988 マル優原則廃止・預金金利20%課税
エスピーサービス(株)設立 1989年～(平成1年～) 最大クライアント㈱インシュアランスサービスとの契約解消を機に、直営で代理店経営に乗り出しました。『生保・銀行・ノンバンク・商社金融の機能をコラボレイトし、優良法人の財務面でのリスクマネージメントに特化した、生保コンサル営業のビジネスモデル』を確立させ、住友銀行・三菱銀行・富士銀行・商工中金・兵庫銀行・広島銀行・百十四銀行・山陰合同銀行・福岡銀行等との生販売提携で、当時は北海道から九州まで15ヶ所の支店網を展開することが出来ていました。	H01								224,900		1989 東証平均史上最高の38,915円、ベルリンの壁崩壊
	H02	738,700									1990 パブル経済破綻
	H03	1,449,300									1991 湾岸戦争、ソ連崩壊
	H04	1,165,400									1992 平成複合不況
	H05	983,600									1993 ゼネコン汚職
	H06	1,018,000									1994 就職氷河期
	H07	1,188,700									1995 阪神大震災、兵庫銀行破綻
	H08	1,261,500									1996 住専問題
	H09	1,048,400									1997 日本版ビッグバン、日産生命破綻、拓銀破綻
(株)アシスト設立 1998年～(平成10年～) 『損害保険各社における保険金支払業務迅速化の為のパートナー』を目指して、アウトソーシング事業に進出しました。アシストはオリックスより20%の出資を得、SEC基準での連結決算対象として事業を開始。（*現在は19%） その後、一部生保会社の破綻・信用不安、利回りの低下、法人税制の変更、長期間の景気低迷、銀行窓販に伴う販売提携の解消、リーマンショック等厳しい逆風を受け、SPサービスの生保売上は右肩下がりを続け、グループ支店網も8ヶ所に縮小させました。 その様な中ではありますが、アシストが順調に成長しているためグループ全体の売上は、何とか上昇基調にあります。	H10	909,700									1998 長銀・日債銀一時国有化
	H11	831,000									1999 銀行破綻続出、東邦生命破綻
	H12	808,400									2000 第一火災・第百生命・大正生命・千代田生命・協栄生命：破綻
	H13	685,000									2001 戦後初のデフレ認定、米国同時多発テロ、東京生命・大成火災：破綻
	H14	674,000									2002 上場企業倒産29社
	H15	713,100									2003 米英イラク戦争
	H16	729,800									2004 新潟県沖中越地震、台風上陸最多10個
	H17	744,500									2005 個人情報保護法施行
	H18	754,700									2006 景気拡大「いざなぎ」超え
	H19	739,200									2007 原油高、郵政民営化
	H20	774,500									2008 リーマンショック、上場企業倒産33件、大和生命破綻
	H21	777,300									2009 デフレ認定、政権交代
ABOS(株)設立 2010年～(平成22年～) 縮小が予想される国内保険市場での、代理店としての経営基盤を強化するために、ABOS(株)を立ち上げました。 エスピーグループが構築してきた、引受ネットワーク・バックオフィス機能・企業代理店経営ノウハウと、人間関係に強味を持つ個人代理店の特性を融合させ、(株)アシストとの両輪で、お客様や保険会社にとって、より付加価値の高い企業グループを目指しています。 エスピーグループの経営理念に賛同し、ABOSに参画するCSPは順調に増え、営業拠点もグループ全体で25カ所を超えています。	H22	814,735									2010 日本航空会社更正法申請、各地で猛暑・異常気象
	H23	913,047									2011 東日本大震災（3.11）、ユーロ危機
	H24	959,813									2012 東京スカイツリー開業、尖閣・竹島問題、衆院選民主党大敗
	H25	919,829									2013 日銀が異次元の量的・質的緩和、参院選で自民・公明両党が過半数獲得
	H26	1,046,790									2014 消費税8%に増税、広島市北部土砂災害、御嶽山噴火
	H27	1,154,000									2015 テロ多発、安全保障関連法設立、建物杭データ偽装
	H28	1,263,000									2016 熊本地震、日銀マイナス金利導入
	H29	1,394,200									2017 衆院選で自民大勝、民進が分裂、トランプ米政権発足
	H30	1,598,550									2018 大阪北部地震・北海道地震、西日本豪雨等広域災害多発
	R01	1,780,000									2019 天皇即位・新元号「令和」、消費税10%に引上、台風19号歴史的豪雨
	R02	1,885,000									2020 コロナパンデミック、東京オリンピック延期、安倍首相辞任→菅政権、米トランプ大統領選敗北
	R03	2,217,550									2021 コロナワクチン接種開始、東京オリンピック開催、岸田政権発足、松山英樹選手マスターズ優勝、大谷翔平選手米・リーグMVP
	R04	2,414,305									2022 ロシアによるウクライナ侵攻、円安1ドル150円突破、安倍元首相銃撃・死亡
	R05	2,464,000									2023 WBC優勝、コロナ5類移行、観測史上最高平均気温、ビッグモーター事件、阪神優勝
	R06	2,716,660									2024 石川・能登地震、大谷翔平選手50-50新紙幣発行、日経平均バブル期超え



時代に即したテクノロジーと融合し、人にしかできない顧客サービスを提供し、社員が輝ける組織を築きます。

変わらない安心と新たな価値をお届けし、透明性と公平性を大切にして社会に貢献します。ABOSは、お客様と保険会社から信頼されるパートナーを目指します。

A B O S 株式会社 代表取締役社長 山岡 小枝

Purpose

（存在意義）

「人」に寄り添いながら、変わらない安心とともに、新たな価値やサービスをお届けします

Values

（価値観）

Human & Technology

人にしかできない顧客サービスと時代に即した組織力とテクノロジーを融合し進化し続けます。

Transparency & Fairness

透明性と公平な組織で、ストレスを最小化し、インカム・レジリエンス・ウェルビーイングを高めていきます。

Everyday Best Partner

大規模代理店としてのブランドを確立し、皆さまのベストパートナーであり続けます。

会社概要

ABOSは [エスピーグループ](#) の一員として、
DXを通じた新しい保険代理店ビジネスを提供しています。

商号	ABOS株式会社
設立	1988年（平成元年）2月 エスピーサービス㈱ 2010年（平成22年）5月 エスピーサービス㈱から保険代理店部門として分社
資本金	1,000万円
本社住所	〒658-0016 神戸市東灘区本山中町4-2-3 サンコー神戸本山ビル5F
電話番号	078-413-8611
FAX番号	078-413-8613
ホームページ アドレス	https://www.abos.co.jp/
営業部門	158名（2024年11月現在）
部門	業務部門 23名（2024年11月現在） 本社部門



役員



山岡 洋二
取締役名譽会長
エスピーグループ代表

1972年（昭和47年）	AIU株式会社(現AIG損害保険株式会社)入社
1981年（昭和56年）	エスピーシステム株式会社設立 代表取締役 就任
1989年（平成1年）	エスピーサービス株式会社設立 代表取締役 就任(兼任)
1998年（平成10年）	株式会社アシスト (オリックス株式会社との共同出資)設立 代表取締役 就任(兼任)
2010年（平成22年）	ABOS株式会社設立 代表取締役 就任(兼任)
2014年（平成26年）	株式会社アシスト 代表取締役会長 就任(兼任)
2017年（平成29年）	ABOS株式会社 代表取締役会長 就任(兼任)
2022年（令和4年）	ABOS株式会社 代表取締役会長 退任 ABOS株式会社 取締役名誉会長 就任



山岡 小枝
代表取締役社長

1998年（平成10年）	オリックス株式会社入社
2011年（平成23年）	OQL大阪第2チーム長
2018年（平成30年）	大阪事業法人2部2チーム長
2019年（令和1年）	楽天カード株式会社入社
2020年（令和2年）	加盟店推進部 西日本マネージャー
2022年（令和4年）	法人営業部 東日本・西日本法人営業チーム 副部長
2022年（令和4年）	ABOS株式会社 取締役社長室長
2023年（令和5年）	ABOS株式会社 代表取締役専務 就任
2024年（令和6年）	ABOS株式会社 代表取締役社長 就任



佐藤 彰宏
執行役員

1986年（昭和61年）	株式会社ヒカリ洋品店 入社
1991年（平成3年）	エスピーサービス株式会社 入社
2010年（平成22年）	ABOS株式会社転籍 大阪営業所長
2024年（令和6年）	ABOS株式会社 執行役員

顧問



熊澤 秀雄
顧問

1978年(昭和53年)	東京海上火災保険株式会社 入社
1994年(平成6年)	北海道本部開発課 課長
1998年(平成10年)	大阪北支店 次長
2004年(平成16年)	山口支店長
2008年(平成20年)	理事就任
2010年(平成22年)	東京海上日動キャリアサービス 転籍
2016年(平成28年)	取締役関西支社長
2019年(令和1年)	定年退職
2024年(令和6年)	ABOS株式会社 顧問

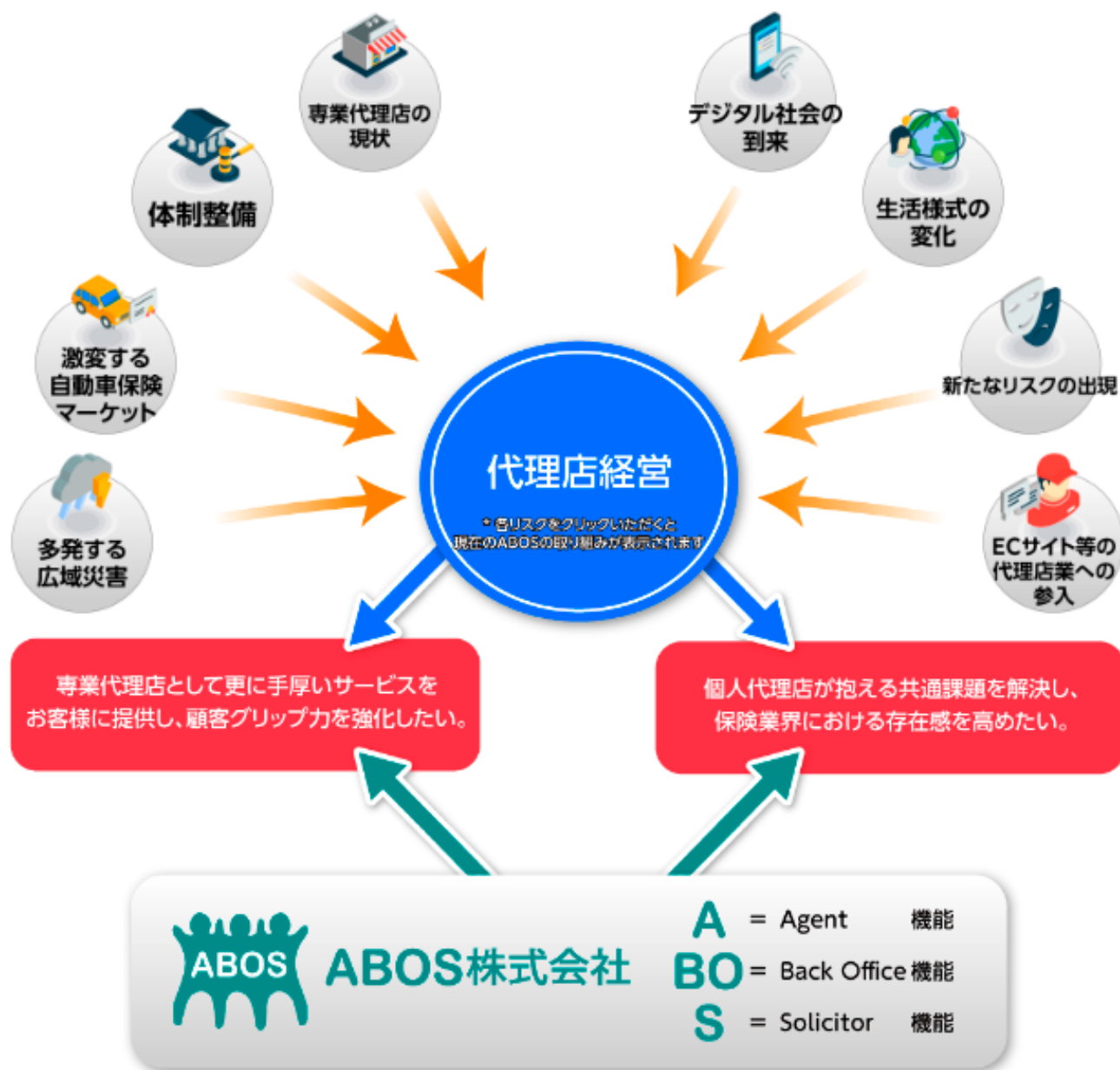
このページの向こうに貴店の「未来」があるかもしれません。

CSP (Customer Satisfaction Producer)

急速なテクノロジーの発展や多くの不確定要素がビジネスを取り巻く環境を複雑にし、未来を予想するのも困難な時代です。

保険代理店経営も、この不確実な環境下で新たなリスクに直面しているといえます。

ABOSは代理店経営に関わるすべてのリスクへの解決策を提供する、ソリューションカンパニーです。



多発する広域災害

地球温暖化をはじめ地球環境の変化によって、台風や水災が頻発

ABOSでは

ABOSと同じエスピーグループの一員であるアシストが、高品質且つ適正価格で応急処置・修復作業・建築サービスを提供

ご自身で修理業者がお手配できないお客様に紹介することで、お客様が1日でも早く日常を取り戻すことができ、「顧客グリップ力」は大きく向上



デジタル社会の到来

業界の方向性に対処できるシステムへの対応

ABOSでは

デジタル化への対応を、ABOTECH を通じて拳社体制で取り組んでおります

- ・AS-BOX(生命保険一括比較による意向把握・比較推奨)
- ・hokan による満期管理・顧客管理
- ・社内イントラ「ABOSNET」による高度な情報共有の実現



激変する自動車保険マーケット

少子高齢化・自動車保有台数の減少・今後加速される自動運転による自動車マーケットの縮小

ABOSでは

- ・「ABOSアカデミーの設立」
- ・保険会社・士業(弁護士・公認会計士等)とタイアップし、自動車保険以外の各種生損保商品知識、販売スキルの習得・向上



生活様式の変化

コロナにより人々の生活様式の大きな変化、求められるサービスの多様な生活様式・価値観に対応できるサービスの提供

ABOSでは

時間と場所の制約を受けない環境を ABOTECH を通じて提供します

- ・バーチャルオフィス等の整備
- ・リモート募集の環境整備
- ・ABOTECH を通じて有益な情報の提供(特選車サービス・士業紹介サービス・名産品情報等)

体制整備

規模に関係なく、より厳しくなった体制整備

ABOSでは

- ・社内監査体制の確立
- ・外部監査法人との提携によるきめ細かい指導



提携先
ニュートン・フィナンシャル・コンサルティング
<https://www.newton-fc.com/business/system-consulting/>

新たなリスクの出現

サイバーリスクや法改正・法整備による新たなリスクへの対応

ABOSでは

- ・中小企業のサイバーリスクの脅威・事前防御に備えて無料診断の提供
- ・会社法改正により中小企業も役員賠償責任を問われる時代にD&O保険などの提案、専門家による専門知識・サービスも提供
- ・CSP社員の資格取得報奨金制度とリスクリングの支援体制の導入



専業代理店の現状

顧客ニーズの多様化により1社ではお客様を守れない

ABOSでは

- ・損保10社・生保19社の保険会社から比較推奨による提案が可能
- ・スケールメリットによる高い手数料ポイントを提供
- ・AS-BOX(生命保険一括比較)による意向把握・比較推奨
- ・ABOTECH による業界最新情報等の提供



ECサイト等の代理店業への参入

LINE・Yahoo!・Amazon 等の参入による脅威拡大

ABOSでは

- ・デジタル化(ABOTECH)とCSPによる顧客グリップ力を融合したサービスを提供



お客様に十分な満足を提供するためには…

代理店の能力や機能を常に向上させる努力
保険会社との友好的パートナーシップの強化

が不可欠です。

しかしながら個人ではお客様からの多様なニーズに応えることが困難な時代になっています。

でも本当の顧客満足度は、生産性や経済合理性の追及だけでは得られません。

お客様との長い人間関係に培われた信頼感や親近感こそ、重要なファクターであるはずです。

ABOSでは保険会社とも協力し合い、

皆様が今後とも保険販売を通じてお客様と良い関係を続けていただくための黒子として、

各種サービス機能の向上に努めています。

保険募集人として、このようなお悩みはありませんか？

- ✔ お客様に対しているいるな保険会社の商品提案が出来ない。
- ✔ 手数料収入（ポイント）を増やしたい。
- ✔ 体制整備（コンプライアンス）への対応が追いつかない。
- ✔ もっと業務のデジタル化を進めたい。
- ✔ 顧客グリップ力を高めたい。

弊社では、このようなお悩みに対して、皆様と一緒に解決していきたいと考えています。

弊社担当者をご説明させていただきますので、お気軽にご相談ください。

保険会社一覧

損害保険会社 (2025年4月現在・順不同)

 三井住友海上 三井住友海上火災保険 株式会社	 AIG 損保 AIG損害保険 株式会社	 損保ジャパン 損害保険ジャパン 株式会社	 東京海上日動 東京海上 日動火災保険 株式会社	 あいおいニッセイ同和損保 あいおいニッセイ 同和損害 保険株式会社	 日新火災海上保険株式会社 日新火災海上保険 株式会社
 CHUBB® Chubb損害保険 株式会社	 セコム損保 セコム損害保険 株式会社	 STARR INSURANCE COMPANIES スター・インデムニティ・ アンド・ ライアビリティ・ カンパニー	 共栄火災 共栄火災海上保険株式会社		

生命保険会社 (2025年4月現在・順不同)

 NN エヌエヌ生命保険 株式会社	 オリックス生命 オリックス生命保険 株式会社	 MetLife メットライフ生命 メットライフ生命保険 株式会社	 Aflac アフラック生命保険 株式会社	 アクサ生命 アクサ生命保険 株式会社	 Gibraltar ジブラルタ生命 ジブラルタ生命保険 株式会社
 日本生命 日本生命保険 相互会社	 はなさく生命 はなさく生命保険 株式会社	 ニッセイ・ウェルス生命 ニッセイ・ウェルス 生命保険 株式会社	 大同生命 大同生命保険 株式会社	 SOMPOひまわり生命 SOMPOひまわり生命保険 株式会社	 三井住友海上あいおい生命 三井住友海上 あいおい生命保険 株式会社
 FWD FWD生命保険 株式会社	 東京海上日動あんしん生命 東京海上日動 あんしん生命保険 株式会社	 Manulife マニュライフ生命 マニュライフ生命保険 株式会社	 ソニー生命 ソニー生命保険 株式会社	 ネオファントス生命 ネオファースト生命保険 株式会社	 ZURICH® チューリッヒ生命 チューリッヒ生命保険 株式会社



第一フロンティア生命
 株式会社

取扱保険種類

損害保険

▶くるまの保険

- 自動車保険
- 自動車損害賠償責任保険(自賠責保険)

▶住まいの保険

- 火災保険
- 地震保険

▶からだの保険

- 傷害保険
- 旅行傷害保険(国内・海外)
- 介護費用保険
- グループ傷害保険
- 労働者災害補償保険

▶その他の保険

- 賠償責任保険(個人・施設・生産物・請負、他)
- 費用・利益保険
- 機械保険
- 建設工事保険
- 勤労総合保険
- 運送保険
- 保証保険(履行保証、他)

生命保険

- 定期保険
- 増額定期保険
- 終身保険
- 養老保険
- 個人年金保険
- 医療保険
- がん保険

上記以外の特殊な保険についても取扱っております。
お客さまの様々なニーズにマッチした保険商品をご案内致します。
お気軽にご相談下さい。

グループ本社 詳細情報	
〒658-0016 神戸市東灘区本山中町4丁目2-3 サンコー神戸本山ビル5F 078-413-8611 078-413-8613	
大阪 詳細情報	〒570-0056 大阪府守口市寺内町2-7-27 ステーションゲート守口 3F 06-6991-6255 06-6991-6233
F P 芦屋 詳細情報	〒658-0011 兵庫県神戸市東灘区森南町1-18-11 ラ・ブリーゼ西芦屋306 078-411-4771 078-411-4771
四国 詳細情報	〒760-0068 香川県高松市松島町1丁目13-10 カントビル2階西号 087-842-1441 087-842-1440
南大阪 詳細情報	〒583-0027 大阪府藤井寺市岡2丁目10-30 APTビル 3F 072-976-5203 072-976-6472
東住吉 詳細情報	〒546-0044 大阪府大阪市東住吉区北田辺6-22-19-201 06-6115-6034 06-6115-6035
茨木 詳細情報	〒567-0868 大阪府茨木市沢良宜西1丁目2-5 ヌーヴェレル南茨木Ⅱ 206 072-632-0040 072-632-0028
MOCT長居 詳細情報	〒546-0035 大阪市東住吉区山坂5丁目12-19 06-7504-4507 06-7502-2803
豊中D・Oサポート 詳細情報	〒561-0852 大阪府豊中市服部本町2丁目7番4号101 06-6335-4011 06-6335-4012
明石 詳細情報	〒673-0898 兵庫県明石市樽屋町8-32 甲南アセット明石第一ビル 202 078-915-0910 078-915-0911
和歌山 詳細情報	〒649-6235 和歌山県岩出市西野148-1 ミムラビル4-A 0736-61-0705 0736-61-0706
広島 詳細情報	〒733-0011 広島県広島市西区横川町2-9-1 マツモトビル501 082-234-0600 082-234-2122